



栗原小だより

新座市栗原 1-5-1 ☎042-473-7070

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/e-kurihara/>



～学校教育目標～
よく考え学ぶ子
心のゆたかな子
たくましい子

令和5年度4月号

令和5年4月10日

さあ栗原小 「シン時代」 のスタートだ！

校長 古澤 健史

【下級生が大事にされ、上級生が尊敬される栗原小学校】

お子様のご入学・ご進級、心よりお祝い申し上げます。大井 敏彰 校長の後任として着任しました校長の古澤 健史（ふるさわ たけし）です。どうぞよろしくお願いいたします。

突然ですが、私の好きなスポーツにラグビーがあります。日本開催のワールドカップでの代表チームの活躍やプロリーグ化で、最近注目を集めています。今年、ワールドカップも開催されます。埼玉県には秩父宮ラグビー場があり、熊谷市を本拠地にするプロチームもあり、このチームは日本一になるくらいの強豪です。

このラグビーのチームで私がずっと注目している大学のチームがあります。その大学チームは、昨年度11度目の大学日本一になりました。かつては9年連続大学の日本一になったこともあります。

どうしてこのチームが強くなったのか、その強さの秘密についての話をしたいと思います。

その秘密は、「下級生を大事にしている」ことなのです。このラグビー部では、上級生がグラウンド整備をし、道具の準備や片付け、ボール磨き等をします。雑用はすべて上級生の仕事です。全国の様々な中学校・高校・大学の部活動では、このような雑用は下級生の仕事です。このラグビー部も昔は同じでした。

しかし、下級生を大事にすることで大きく変わりました。大事にされることで、下級生が部活を辞めてしまうことがなくなり、強い選手がたくさん育ちました。自分が上級生になれば、自分がしてもらったことと同じことを今度は下級生にするようになりました。上級生の意識も

変わりました。上級生としての尊敬は、威張ることではなくプレーや態度で下級生の模範となることで得られるものだという意識になりました。

栗原小学校では、4月6日に全校より一足早く「シン6年生」が、入学式の準備のために登校しました。どの6年生も自分たちが栗原小を今年引っ張っていくのは自分たちだと一生懸命準備をしてくれました。入学してくる1年生のために、今日来ていない2年生から5年生の分も心を込めて教室の掃除や飾り付け、会場設営をしてくれました。彼らが中心となり作られていくであろう、栗原小の1年がとても楽しみになりました。ことあるごとにこの6年生が中心となり1年生の面倒を見てくれるでしょう。そしてその姿を見た2年生から5年生も見習ってくれるでしょう。

下級生が大事にされ、上級生が尊敬される栗原小は、とても素敵な学校だと思います。そのような学校に赴任でき、幸せであり、身の引き締まる思いです。

4月10日、栗原小学校の令和5年度が始まりました。新1年生54名の入学に加え、昨年度新設された特別支援学級「マロン学級」を含む全校児童数391名、15学級でのスタートになりました。これまで築いてきたよき伝統を継承しつつ、さらに発展していけるよう、教職員一丸となって尽力してまいります。保護者、地域の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきながら、共に栗っ子の健やかな成長を支援していきたいと思っております。

「学校大好き！輝くひとみいっぱい 栗原小学校」の「シン時代」のスタートです。